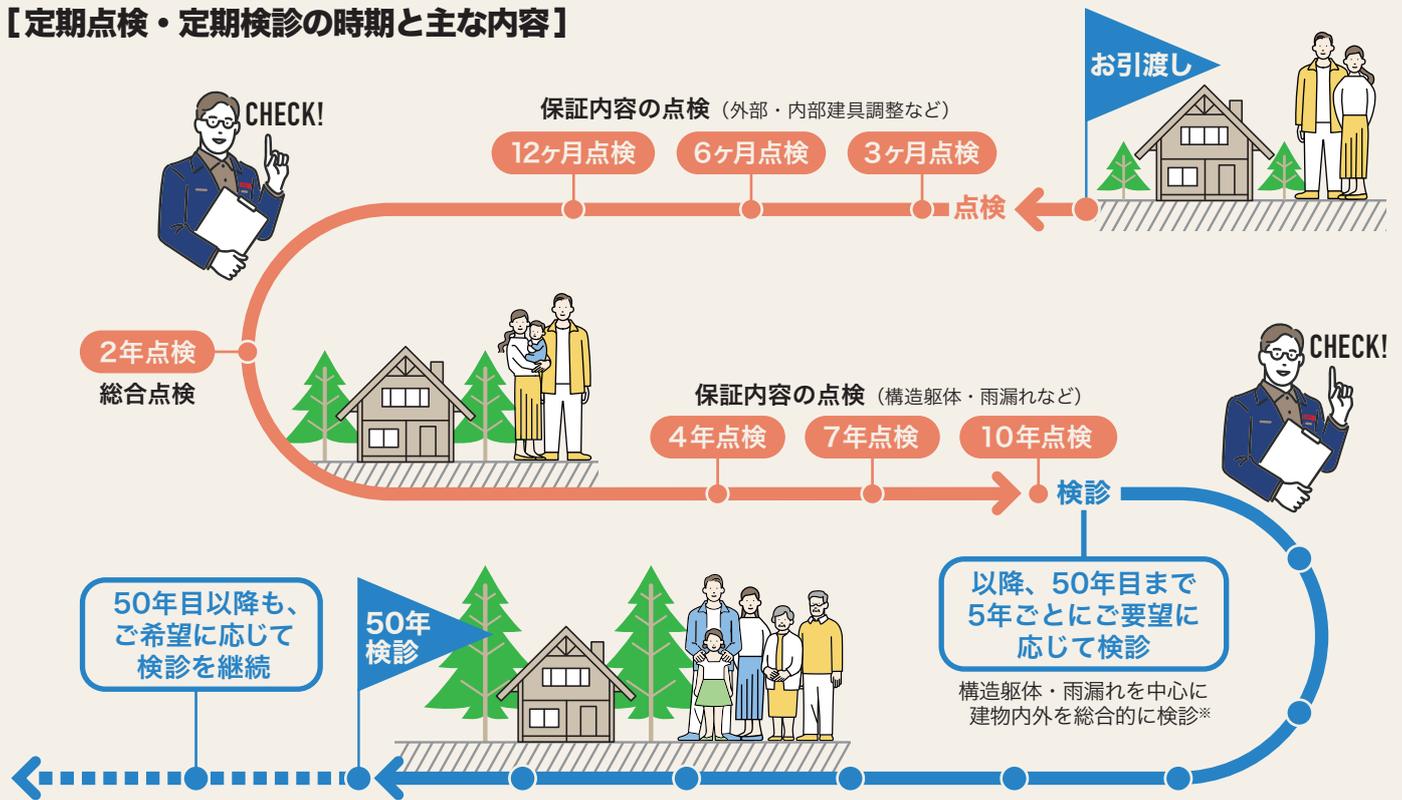


【定期点検・定期検診の時期と主な内容】



スウェーデンハウスの高い基本性能が正しく発揮されるためには、施工段階の確かな技術と管理体制がなくてはなりません。

このシリーズで紹介してきました、帯金物、継目断熱材、防水・気密テープ、気密パッキン、外壁や床下・床の穴への気密対策、壁パネル角部の防湿気密フィルム処理、窓の気密性、施工管理体制、全棟C値測定……。一つ一つどれも、技術や手間を要するものです。そして完成した

50年間 無料 定期検診 システム

たがわない
約束
12
「ヒュースドクトル50」

ヒュースドクトル
HUS50
DOKTOR
50年間無料定期検診システム

ら目に触れることがない細部に至るまで、的確に**施工作業を積み重ねる**

その理由は、「安全かつ安心な家で、長く健康に暮らしてほしい」というスウェーデンハウスの想いを実現するために必要なことだからです。住まいの快適性にとって、高い気密性能を追求することがいかに重要であるかを、このコーナーではお伝えしてきました。建物の隙間を極力なくすからこそ、断熱性能が十分に発揮され、空気の質を保つ計画換気も有効に働きます。

こうした施工・管理によって完成し、お引渡しをする住まい。その新築時の**性能を長く維持する**

ためのスウェーデンハウスのサポート体制が、50年間無料定期検診システム「ヒュースドクトル50」です(図参照)。家に生じた小さな変化も見逃さず、定期的に点検や検診を行い、適切なタイミングでケアが行き届くよう、大切な住まいを**見守るためのシステム**

です。そして、全てのスウェーデンハウスは等しく高い基本性能だからこそ、日々の経験値やデータは蓄積され、1棟1棟のより良いメンテナンスのご提案につながります。

私たちはこれからもずっとオーナー様に寄り添い、より関係を深めながら、世代を超えて住み継がれる家を追求し続けます。